部　方　針　書

年度	部名	部長名
R5	水道局	溝部貢平

1　部の経営方針　部全体を俯瞰したマネジメントの目標

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標ごとに記載）
1	【基本理念】 安全でおいしい水をいつまでも～信頼される水道をめざして～
2	〔基本方針〕 1　安全・安心 ― いつでも安心して飲める水道水の提供 2　持続 ― 健全で安定的な事業運営 3　環境対策 ― 環境にやさしい取組 4　サービスの推進 ― お客様満足度の高い信頼される水道事業の推進
3	《行動理念》 自らが動き模範となるとともに、管理職員と協力・連携して、水道職員の人材育成に努める。 ～目指すべき職員像～ 1　熱意ある職員　広い視野と柔軟性を持ち、積極的に水道事業の課題に挑戦する。 2　誠意ある職員　水道職員として高い倫理観を持ち、自ら研鑽に努め、市民の感覚や視点を持ち、市民の信頼と期待に応える。 3　創意する職員　社会経済情勢を的確に捉え、長期的視点に立って水道事業の将来を考える。 コスト意識を持ち、適正な改善・改革に取り組み、水道事業の経営感覚を持つ。
◎心理的安全性確保に向けた取組（記入必須） コミュニケーションの場を積極的に設け、発言の機会を平等に、かつ、発言に対しては、これをポジティブに受け止め、かつ、関係職員全員による協力体制を構築する。	

2　部が所管する主な個別計画　前期実行計画に掲げる施策に関連する特定分野における計画

No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類
1	宇部市水道事業総合計画	R4～R13	基本目標5 安心・安全	2	浄水施設（中山浄水場・広瀬浄水場）更新計画	H31～R9	基本目標5 安心・安全	3	配水池等貯水施設更新計画	H31～R7	基本目標5 安心・安全
4	配水管更新計画	R2～R11	基本目標5 安心・安全	5				6			

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	総務企画課	濱原資彦

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由

水道事業が円滑に進むように組織・機構の確立に努め、経営の安定を図る。
各課の主要施策が確実に実行されるように、連携を密にするとともに協力体制を整える。

2 課の目標・アウトカム

前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	宇部市水道事業総合計画の進捗管理	個別計画	R4～R13	目標数値等の達成	計画の改定	実施計画項目の検証及び計画の見直し	目標値や指標の進捗状況の評価により、取り組み内容の修正や改善を実施。
2	本庁舎の建替えの検討	個別計画	R5	サウンディング調査の実施と結果の集約	—	サウンディング調査の実施と結果の集約	民間事業者のノウハウやアイデア等を参考に本庁舎建替え計画の策定に活かす。
3	水道水PR活動（PR活動件数）	個別計画	R5	34件	22件	34件	安全で安心できる水道水について、理解と関心を深める。
4	危機管理体制の充実（住民参加型防災訓練の実施件数）	個別計画	R5	2地区	4地区	2地区	防災訓練を体験してもらうことにより、コミュニティでの防災意識の向上が図れる。
5	ICT・IoT技術の業務活用件数	個別計画	R5	10件	7件	10件	ICT機器を活用し、非接触型業務への転換を推進することにより、業務の効率化が見込める。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	宇部市水道事業総合計画の進捗管理	進行状況を定期的に確認し、適切な進行管理を行う。	計画の改定	計画の改定

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
基本方針に定める4項目に沿った19事業（実施計画項目）に対する指標又は目標の進捗状況を検証し、計画を見直す（アクションプランの策定）。		ゼロ予算	実施計画項目の検証及び計画の見直し
（庁内連携課）	全課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
＜宇部市水道事業総合計画推進計画（アクションプラン）＞											
	●R4年度進捗状況（アクションプラン）の作成					●公表	●事業の推進、進捗管理				
＜部課方針書＞											
●R5年度部課方針書	●事業の推進・進捗管理					●上半期レビュー	●上半期レビューの反映		●事業の推進・進捗管理		
								●R6年度部課方針作成 及び R6年度予算編成			

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	本庁舎の建替えの検討	耐震診断の結果、耐震性がないことが判明したことから、今後の本庁舎の在り方について検討する。	― ―	―

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
本庁舎建替えに関するサウンディング型市場調査を実施し、コスト削減、付加価値の創造、環境への配慮等、民間事業者のノウハウやアイデア等を参考にする。		ゼロ予算	サウンディング調査の実施と結果の集約
（庁内連携課）	上水道整備課、営繕課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●調査手法の検討											
	●調査の準備										
			●調査の実施								
						●調査結果の集約					
							●本庁舎建替え計画（案）の策定				

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	水道水PR活動	より多くのお客様に水道水のことを知っていただき、お客様満足度の高い信頼される水道を目指す。	PR活動件数 34件	22件

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
「安全で美味しく低廉な宇部市の水道水」のPR活動。		248	34件
（庁内連携課）	全課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
＜小学生を対象とした授業で安全で美味しい水のPR＞											
●依頼文発送	●各小学校の進捗にあわせ授業実施（目標24校実施）										
＜行事・イベント等によるPR＞											
		●水道週間行事					●水源保全体験				●小野湖の日
		●PR動画の配信									

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	危機管理体制の充実	地区自主防災会等と連携し、防災訓練を実施することにより、給水コンテナの活用など災害時に迅速かつ的確な対応を図る。	実施件数 2地区	4地区

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
宇部市総合防災訓練や各地区主催防災訓練に参加し、給水コンテナの活用方法等を含めた水道に関する防災対策について周知を図る。		ゼロ予算	2地区
（庁内連携課）	全課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
＜防災訓練の実施（随時）＞											
●市防災危機管理課や各地区と日程及び訓練内容の調整 → 調整後、訓練実施											
＜その他＞											
●危機管理マニュアルの改訂（随時）					●防災の日訓練実施（職員参集訓練）				●消防訓練の実施		
●緊急時備蓄用ボトル水の確保について検討											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	ICT・IoT技術の業務活用	業務・システムの最適化。	事業活用件数 10件	7件

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
ICT機器を活用し、非接触型業務への転換を推進する。		180	10件
（庁内連携課）	全課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
＜勤怠管理システムの導入による人事管理の効率化と適正化＞労働時間管理、時間外勤務の管理と申請・承認の電子化、各種休暇の管理と申請・承認の電子化											
●試行運用			●本運用								
＜AI-OCRを活用した業務改善＞											
●対象となる紙ベース申請書等の選定 → OCR後のテキストをデータベース化（随時）											
＜RPAを活用した業務改善＞											
●繰返し定型業務を選定 → RPA構築（随時）											
＜その他、情報化施策の調査・研究＞											
●ソリューション調査・研究・選定							●予算措置協議				

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	財務課	礒部　覚

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由

水道事業が将来に向けサービス水準を維持できるよう、財政基盤の強化に努め、経営の安定を図る。
入札、契約業務の適正な履行により、入札機会の均等に努めるとともに、適正な競争を通じて効率的な事業運営に繋げる。

2 課の目標・アウトカム

前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	経常収支比率【%】	個別計画	R5	100.0%（以上）	107.96%	102.53%	予算執行方針及び編成方針の徹底（規律ある財政運営）による経営の安定
2	企業債残高【企業債残高対給水収益比率】	個別計画	R4～R8	280.21%（未満）	285.28%	290.17%	企業債の適正借入（固定負債の増加抑制）による財政基盤の強化
3	積立金残高【億円】	個別計画	R5	23.4億円	30.1億円	25.6億円	施設更新財源の確保による施設更新事業の適正執行
4	遊休地の有効活用	個別計画	R5	旧中山第2浄水場跡地の売却	—	旧中山第2浄水場跡地の売却	固定資産の整理及び現金資金の増加による財政基盤の強化
5							

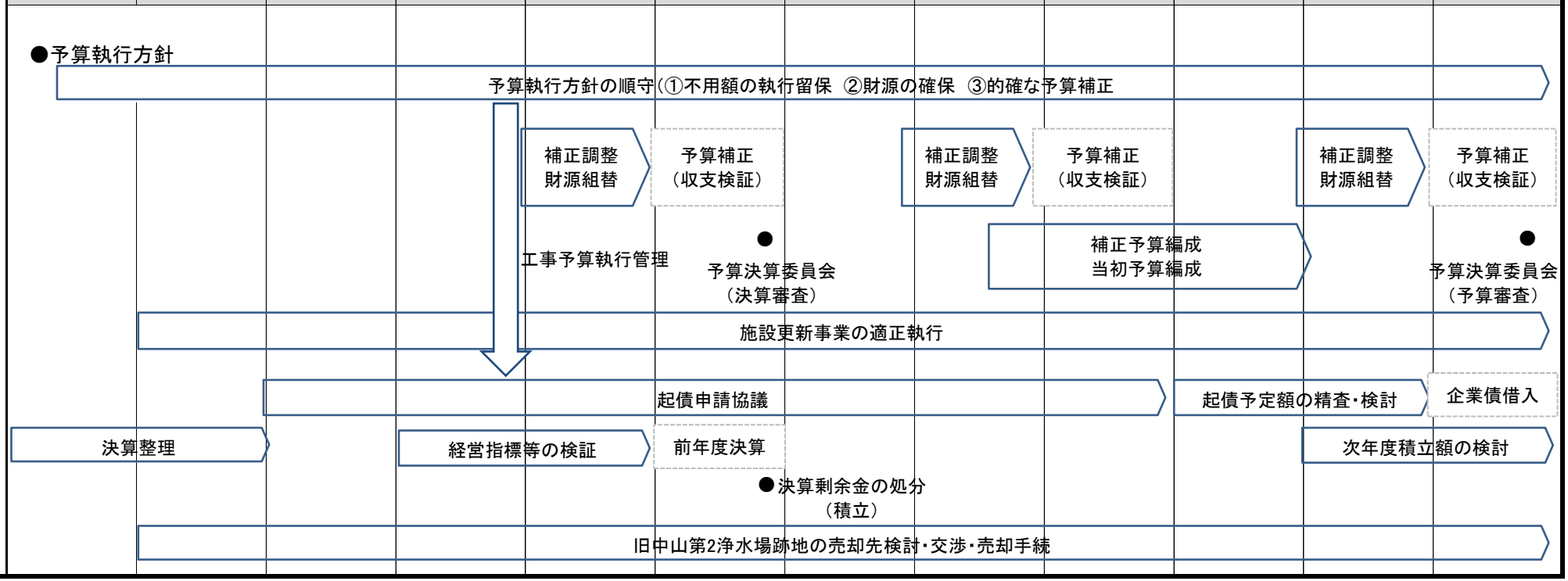
課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1,2,3,4	財政健全化事業	省エネ社会への移行や人口減少により料金収入が減少傾向にある（H29→R3の5年間で年平均△28,732千円）。一方、老朽施設の更新需要がR4～R13までの10年間で約183億円となっていることから、財源確保が重要な課題となっている。	経常収支比率 108.20% 企業債比率 279.83% 積立金残高 24.9億円	経常収支比率 107.96% 企業債比率 285.28% 積立金残高 30.1億円

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・予算執行方針及び編成方針の徹底（規律ある財政運営） ・企業債の適正借入 ・施設更新財源の確保（施設更新事業の適正執行） ・遊休地の有効活用		ゼロ予算 （※土地売却は未確定）	経常収支比率 108.64% 企業債比率 291.48% 積立金残高 23.4億円 旧中山第2浄水場跡地売却
（庁内連携課）	全課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール



課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	営業課	松岡千晶

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
水道料金及び下水道使用料の正確な調定を行うとともに、料金収納率の向上と上下水道の使用に関し、常にお客様目線に立った、親切丁寧な対応と接遇能力の向上に努める。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	プロポーザル方式による水道メーター検針関連業務委託受託業者選定	個別計画	R5	受託業者決定	—	受託業者決定	【市民サービス】お客様の水道料金・下水道使用料算定の基礎となる検針を「正確・迅速・丁寧」に行うことに加え、民間事業者のノウハウによるお役様サービスの向上を図る。
2	口座振替申込書電子データの料金システムへのファイリング ※業務効率化・個人情報管理の強化（口座振替申込書電子データファイリング進捗率【%】）	個別計画	R8	100%	54.29%	65.72%	【口座振替申込書管理】紙媒体から電子データ管理に変更することにより、個人情報管理が向上する。 【市民サービス】口座振替申込後から引落手続き完了までの作業時間が短縮できる。
3	水道料金の収納促進（翌年度5月末時点の収納率【%】（累計））	個別計画	R5	99.43%	99.41%	99.43%	【経営基盤強化】ライフスタイルに合わせた収納機会の確保による早期回収に努めることで、収入の確保を図る。
4	下水道使用料の収納促進（翌年度5月末時点の収納率【%】（累計））	個別計画	R5	99.25%	99.23%	99.25%	【経営基盤強化】ライフスタイルに合わせた収納機会の確保による早期回収に努めることで、収入の確保を図る。
5	水道メーターの適正管理（撤去予定数に対する達成率【%】（累計））※経費削減・凍結破損防止	個別計画	R5	90%	96.04%	90%	【経費削減】中止栓撤去により検針、検満取替委託料が削減できる。 【業務効率】OCRスキャン等のICT活用により水道メーターの異動処理に伴う作業が効率化する。 【市民サービス】当該水栓の住民や周辺住民の空家対策、凍結破損防止対策等が軽減できる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	水道メーター検針関連業務委託受託業者選定	水道料金・下水道使用料算定の基礎となる検針を「正確・迅速・丁寧」に行うことに加え、民間のノウハウによるサービスの向上を図る。	― ―	―

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
宇部市水道局プロポーザル実施ガイドライン及び運用基準に基づき、R6年度からの受託業者を選定		ゼロ予算	受託業者決定
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		●6月市議会補正予算上程									
			●プロポーザル選定委員会開催								
				●プロポーザル参加募集							
					●選定委員会によるプロポーザル参加資格の審査						
					●実施説明会						
							●業務提案書等の審査評価及び受託候補事業者選定				
							●受託候補事業者選定結果の通知				
								●業務委託契約締結			

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	口座振替申込書電子データの料金システムへのファイリング	業務効率化・個人情報管理の強化	口座振替申込書ファイリング進捗率 —	54.29%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
①口座振替申込書（既存）のPDF化、②OCRスキャンによる口座情報のExcel管理、③RPAによる口座情報の上下水道料金システムへの読込登録方法の開発		ゼロ予算	65.72%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●新規口座振替申込書のPDF化 ●OCRスキャンによる口座情報のExcel管理 ●RPAによる口座情報の上下水道料金システムへの読込登録方法の開発											

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	水道料金の収納促進	水道使用者の公平性の確保と健全な水道事業の維持	翌年度5月末時点の収納率 99.42%	99.41%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
①現地納入通知書発行による請求、②口座振替の推進 ③納入方法の拡大（モバイル決済の追加）、④収納指導時間の変更（18:00以降の電話連絡等）		ゼロ予算	99.43%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●口座振替を推進するとともに、モバイル決済等を周知し、未納者への自主納付指導を強化 ●収納指導時間の変更（18:00以降の電話連絡等）											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	下水道使用料の収納促進	下水道使用者の公平性の確保と健全な下水道事業の維持	翌年度5月末時点の収納率 99.24%	99.23%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
①水道料金の収納促進と同様な取組 ②下水道使用料のみ請求者（井戸汚水）への個別対応		ゼロ予算	99.25%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（水道汚水） ●口座振替を推進するとともに、モバイル決済等を周知し、未納者への自主納付指導を強化 （井戸汚水） ●井戸汚水該当者に利用状況個別調査を実施 ●毎月末に未納状況を確認し、即時収納指導 ●収納指導時間の変更（18:00以降の電話連絡等）											

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	水道メーターの適正管理	検針・検満取替の委託料削減、空き家漏水対策	撤去予定数に対する達成率 90%	96.04%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
①1年以上中止継続水栓のうち共同住宅を除いた水道メーターの計画的な撤去 ②購入した水道メーターマスタ情報の上下水道料金システムへの一括登録 ③検満取替後のメーター異動報告書のOCRスキャンを活用した上下水道料金システムへの読込登録		ゼロ予算	90.00%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（中止栓撤去）		●年間計画 ： 対象件数639件　※共同住宅は再取付率が高いため、除外する									
					効率的に実施（R5.6～R6.1末）						
（マスタ情報）	●水道メーターのマスタ情報を正確に登録・管理										
（異動処理）	●検満取替における撤去・取付メーター情報を効率的に登録・管理										

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	上水道整備課	久保　勉

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
安全・安心な水道水を配水池から各家庭の蛇口まで、断水等ないよう安定的に給水する。 施設が老朽化するなかで、漏水状況等を勘案し、優先順位を付けながら地震等災害に対応しうる施設を構築する。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	全管路の耐震適合率の向上：耐震適合率(累計) 【配水管整備工事】 ・基幹管路整備：φ50～φ300　L=605m ・ビニル管更新：φ50～φ150　L=6,929m ・その他管更新：φ50～φ250　L=2,300m ・外部要因工事他：φ50～φ150　L=2,043m 合計：φ50～φ300　L=11,877m	個別計画	R4～R8	31.80%	29.00%	29.80%	・管路の耐震化を推進することで、地震等の災害に強い施設の構築ができ安定供給を確保することができる。
2	中継配水池ほかの耐震化(耐震補強)：耐震化率(累計) ・西岐波中継配水池（令和4、5年度継続工事）	個別計画	R1～R5	91.80%	83.70%	91.80%	・地震による貯水施設等の倒壊を未然に防ぎ、飲料水を確保できる。
3	JR横断管路更新（累計）	個別計画	R4～R8	17箇所	0箇所	6箇所	・線路下の漏水事故が発生した場合のリスク(列車の運休等)を軽減できる。
4	貯水槽水道設置者への適正管理及び直結給水切替促進の指導（直結給水率の割合）	個別計画	R4～R8	96.10%	95.70%	95.80%	利用者の安心・安全・安定的な水の供給
5							

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	配水管整備事業	管路総延長が1,124km【R4年度末】ある中で、法定耐用年数を超過した管路延長が201km（17.9%）【R4年度末】ある。中でも耐震適合管の延長が326kmとなっており、全体の29.0%にとどまっている。安全で安心な水道水の安定供給ができる体制を確保するため耐震化を実施する。	耐震適合率 28.60%	29.00%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
管路更新10年計画に基づき、配水管を耐震管による布設替を行い、耐震適合率を向上させる。		968,897	29.80%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●設計		●入札	●工事着工								●工事完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	中継配水池ほかの耐震化	耐震診断の結果、19箇所中7箇所（主要配水池2箇所、中継調整池ほか5箇所）で耐震性のないことが判明したため、上水道整備課で所管する中継配水池ほか5箇所の耐震補強を実施する。	耐震化率 83.70%	83.70%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
西岐波中継配水池：内外槽(R4,5年度継続工事) R4：63,866千円 R5：165,750千円		165,750	91.83%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●R4年度から継続工事（施行中）											●工事完成

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	JR横断管路更新	JR軌道下に横断されている配水管が市内74箇所【R3年度末】あり、布設替等が必要な横断管が17箇所ある。 R8年度までに全17箇所について漏水事故等による2次被害のリスク低減のため改良工事を実施する。	箇所数 2箇所	0箇所 （2箇所繰越）

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
JR横断管は漏水のリスクが大きく、創設時の管路が多く取り残されている状況で早急な対応が必要なため、R8年度までに17箇所を施工する。		47,640	6箇所 （繰越2箇所含む）
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●設計	●入札		●工事着工							●工事完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	貯水槽水道設置者への直結給水切替促進	新水道ビジョン【厚生労働省健康局：平成25年3月策定】及び宇部市水道事業総合計画　第4章2-（1）【令和4年（2022年）4月改定】により衛生問題を解決するため貯水槽水道から直結給水への切替を推進する。	直結給水率 95.70%	95.70%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
貯水槽水道設置者に対して適正管理及び直結給水切替の指導を行うとともに、指定工事店に対して直結給水切替工事申請を審査・指導する。		ゼロ予算	95.80%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●貯水槽水道の直結給水切替工事申請の受付、審査及び完了検査 ●貯水槽水道設置者へ適正管理及び直結給水切替促進文書の発送準備					所有者、施設管理者の確認●			●文書発送、問い合わせ対応			

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	浄水課	山本晃広

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
安心して使用できる安全でおいしい水を安定的に供給するため、浄水施設の健全化・運転の適正化・水質管理の徹底を図る。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	広瀬浄水場更新施設数（累計） ・PAC注入設備更新工事 （R4,5年度継続工事） ・その他施設更新工事 ：R10年度までに3箇所	個別計画	R1 ～ R10	5箇所	1箇所	2箇所	・PAC注入設備は浄水処理において重要な設備であり、老朽化した施設を更新することにより、安定給水が持続できる。
2	広瀬浄水場浸水対策の実施	個別計画	R4 ～ R5	確率規模 100年に1度の雨量に対する対策100%	確率規模 100年に1度の雨量に対する対策75%	確率規模 100年に1度の雨量に対する対策100%	・広瀬浄水場は宇部市の主要浄水場であり、洪水時の浸水対策を行うことにより、安定給水が持続できる。
3	広瀬浄水場2系送水ポンプの 電動機オーバーホール	個別計画	R4 ～ R6	3台	1台	2台	・広瀬浄水場2系送水ポンプは市内に配水するための主要ポンプであり、ポンプの電動機をオーバーホールすることにより安定給水が持続できる。
4			R○ ～ R○				
5			R○ ～ R○				

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	広瀬浄水場PAC注入設備更新工事	施設の老朽化により更新する（設置年度：平成5年、法定耐用年数：機械15年）。	2箇年継続工事 60%	52%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
原水中の懸濁物質を固める薬品である広瀬浄水場PAC注入設備の更新を行う。		207,010	100%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●工事着										●工事完成	

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	広瀬浄水場浸水対策の実施	宇部市厚東川水系洪水ハザードマップをふまえ、近年多発している集中豪雨などの急激な水位上昇に迅速に対応できるよう、効率的、効果的な施策を実施する。	単年度完成 100%	75%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
広瀬浄水場周辺出入口等の洪水時浸水可能性場所に浸水対策を行う。		54,279	100%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●工事着工（R4年度）		●工事完成									

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	広瀬浄水場2系送水ポンプの電動機オーバーホール	送水ポンプの電動機点検結果に基づき、分解整備を行う（設置年度：平成4年、法定耐用年数：15年）。	1台 100%	100%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
広瀬浄水場の主要ポンプである2系送水ポンプの電動機オーバーホールを行う。		26,000	100%
（庁内連携課）		うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●設計	●契約				●作業開始					●作業終了	

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	水道広域推進室	溝部貢平

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
宇部市・山陽小野田市水道事業広域化検討委員会（任意協議会）における水道事業の広域化・広域連携の協議調整が順調に進むよう適正な事務処理を行い、両市の水道事業の広域化・広域連携を推進する。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	両市の個々の事務事業の共同化（広域連携）についての協議・実施	個別計画	R5～	事務事業の共同化（広域連携）の実施	浄水場使用薬品の一括入札・ダム水の水質検査結果の共有・水質検査の共同化を実施	事務事業の共同化（広域連携）の実施	事務事業の共同化（広域連携）を実施することにより、経費の削減が見込める。
2	両市の水道事業の広域化についての協議・結果の取りまとめ	個別計画	R5～	水道事業の広域化についての協議結果の取りまとめ	中項目40のうち14項目について広域化案を取りまとめ	浄水場再編における水利権の見直し他について協議と結果の取りまとめ	検討委員会における広域化案を両市長に答申し、両市の方針を決定

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1、2	広域連携推進事業	給水人口の減少、節水型社会への移行により、水道事業の主たる収入である水道料金が減少する中、水道の安心・安全・安定を維持するためには、区域を越えて他の事業体との連携を図る必要がある。 水道料金（実績） H24（2012）年度→R3（2021）年度 ▲251,591千円（▲27,955千円/年、▲0.8%）	事務事業の共同化（広域連携）の実施、水道事業広域化についての協議結果の取りまとめ	浄水場使用薬品の一括入札・ダム水の水質検査結果の共有・水質検査の共同化を実施、中項目40のうち14項目について広域化案を取りまとめ

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・個々の事務事業の共同化（広域連携）について協議し、合意したものについて実施する。 ・水道事業の広域化について協議し、その結果を取りまとめる。		ゼロ予算	事務事業の共同化（広域連携）の実施、浄水場再編における水利権の見直し他について協議と結果の取りまとめ
（庁内連携課）	全課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●個々の事務事業の共同化（広域連携）について検討委員会等で協議・調整 →											
		●市長報告・協議 ●議会報告						●市長報告・協議 ●議会報告			

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	技術監理室	沼　寿実男

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
工事の適正かつ能率的な施工の確保及び工事に関する技術水準の向上及び建設業の健全な発達に資することを目的とする「品確法に基づく技術検査」を行う。 安心・安全な飲料水を提供するため、浄水場外施設の点検、維持管理を適切に行う。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	工事完成検査の早期実施 (完成報告書の翌日から7日以内の実施率)	個別計画	R5～R5	100%	100%	100%	検査日を早めることにより、早期に受注者への支払いが可能となる。
2	受注者の工事に係る施工水準及び施工能力の向上	個別計画	R5～R5	前年度（76.7点）の結果を上回る評定点の向上	76.7点	前年度の結果（76.7点）と比較し、それを上回る評定点の向上	施行能力の向上により、舗装の仕上がり等の施工管理の向上につながる。
3	「水道工事共通仕様書」、「水道工事施工管理基準」及び「工事写真帳作成基準」の見直し	個別計画	R5～R5	全ページ見直し	－	全ページ見直し	水道に関する施工基準の見直しにより、水道施設利用者の利便性の向上につながる。
4	安心・安全な水道水の安定供給に向けた水道施設点検の実施	個別計画	R5～R5	施設不具合の早期発見、早期対応	－	施設不具合の早期発見、早期対応	施設の不具合を早期発見、早期修繕することにより、不具合から発生するトラブルを事前に予防し、水道水の安定供給につながる。
5	安心できる飲料水の提供に向けた残留塩素の管理	個別計画	R5～R5	0.3mg/L以上	R4最低残塩0.15mg/L	0.3mg/L以上	残留塩素計及び末端排水における残留塩素濃度の実測点検、調整により、提供する飲料水の安全性確保につながる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	工事完成検査の早期実施	契約約款第三十一条（工事の完成検査及び引渡し）	7日以内の検査実施率 －	100%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
工事完成報告書の翌日から7日以内に完成検査を実施する。		ゼロ予算	100%
（庁内連携課）	上水道整備課, 浄水課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					通 年						
					工事完成検査の実施（随時）						

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	受注者の工事に係る施工水準及び施工能力の向上	地方自治法第二百三十四条の二（契約履行の確保）、宇部市水道局工事検査要綱第十条（検査の実施）	年度平均評定点 －	76.7点

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
工事完成検査の適正な実施、指導により、受注者の工事に係る施工水準及び施工能力の向上を図る。		ゼロ予算	前年度の結果（76.7点）と比較し、それを上回る評定点の向上
（庁内連携課）	上水道整備課, 浄水課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					通 年						
				工事完成検査の適正実施、指導（随時）							

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	「水道工事共通仕様書」、「水道工事施工管理基準」及び「工事写真帳作成基準」の見直し	契約約款第一条（総則）	－ －	－

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
全ページに渡り、担当課（上水道整備課、浄水課）とともに、基準値の見直しを行う。		ゼロ予算	全ページ見直し
（庁内連携課）	上水道整備課, 浄水課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●検討会		●検討会		●検討会		●検討会		●とりまとめ	●入札参加事業者へ通達	

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	安心・安全な飲料水の安定供給に向けた水道施設点検の実施	水道法第二十二条の二（水道施設の維持及び修繕）	－ －	－

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
施設の不具合を早期発見、早期修繕することにより、不具合から発生するトラブルを事前に予防し、水道水の安定供給を行う。		ゼロ予算	施設不具合の早期発見、早期対応
（庁内連携課）	上水道整備課, 浄水課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検	●施設点検

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	安心できる飲料水の提供に向けた残留塩素の管理	水道法施行規則第十七条（衛生上必要な措置）	残留塩素濃度 －	R4最低残塩 0.15mg/L

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
残留塩素計及び末端排水における残留塩素濃度の実測点検、調整により、提供する飲料水の安全性確保を行う。		256	0.3mg/L以上
（庁内連携課）	上水道整備課, 浄水課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					通 年						
				市内各所の残留塩素確認（随時）							
●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理	●現場管理